（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあんプラス			
○保護者評価実施期間	2026年　10月　1日	～	2026年　10月　14日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	48	（回答者数）	38
○従業者評価実施期間	2026年　10月　22日	～	2026年　10月　27日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が通所を楽しみにしてくれていること。	平日の学習支援や集団活動以外にも、毎週異なる休日のプログラムを設定している。時節のイベントをはじめ、室内カラオケや外出イベントなど、幅広いニーズに対応するとともに、その中で社会性や自立心を培えるように心掛けている。	プログラムの内容が均一化しないように、様々な角度から企画の立案を行っている。
2	SSTや集団での活動を行い、社会でのルールや人間関係を身に付けられるようなプログラムの提供を行っていること。	スーパーでの買い出し（予算内でのやりくり）や集団での昼食/夕食作りを行い、金銭感覚の習得や食育を目的としたプログラムを実施している。また各種SST（インターネットSSTやゲーム前のSST）により、今後の日常生活や社会参画に必要な知識の習得を図っている。	今後も事業所の中だけでなく、日常生活や将来に必要な社会性や協調性を育めるようにプログラムの企画を行う。また日々変わりゆく社会情勢の中で、時流に合った内容のプログラムを提供できるように心掛けていく。
3	本人や家族のニーズに沿った支援プログラムを用意し、実施していること。	保護者との面談にて現在の課題点やニーズを聞き取り、支援の方向性や目標を共有している。設定した目標や支援内容ついて職員全員で共有するため、利用者の来所前に毎日ミーティングを行っている。	児童の特性や達成すべき目標を踏まえて、一人ひとりに合った支援を提供できるように心掛ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会の開催がなく、保護者同士の交流の機会がない。	保護者との日程調整や開催場所、時間の設定が難しく、開催に至っていない。	現在、父母の会や保護者会の企画、実施はしていない。保護者やその他の家族が参加できる行事の開催については、要望を伺った上で開催を検討していく。
2	活動室が１つしかないため狭く感じる。バリアフリーになっていない。	物件の間取りや活動内容の都合上、活動室の分割やバリアフリー化には限界がある。 化粧室のバリアフリー化はできていない。	可能な限り活動スペースが広くとれるよう、整理整頓や備品の配置を工夫していく。利用者の安全確保を第一に考えた上で、バリアフリー化されていない場所については、個別に適切な補助を行うなど人的なサポートを実施し、誰もが利用しやすい環境づくりに努めていく。
3	放課後児童クラブや児童館、地域との交流が少ない。	左記の施設や地域との交流を望まない利用者やご家庭もあるため、企画や実現には至っていない。	あんプラスの他教室との合同イベントを定期的に実施し、普段とは異なる児童や環境との関わりを持てるようにしている。今年度は地域の商店街が実施しているハロウィンイベントへの参加も行った。 その他の内容については、今後希望を伺いながら実施の検討を行っていく。